

民主党 適切な医療費を考える議員連盟 決議文

【医療崩壊を防ぐための緊急提言】

小泉構造改革路線が行った、過去4回の診療報酬改定分マイナス7.68%（技術料本体マイナス2.28%、薬価マイナス5.4%）は、医療者の過労死や、自殺、地域における医療崩壊を招来しました。

民主党は先の総選挙において、「国民の生活が第一」、「コンクリートから人へ」を高く掲げ、このメッセージが多くの国民の方々から支持され、「政権交代」を果たしたと言っても過言ではありません。鳩山新政権が、初めて行う予算編成にあたり、この事に最大限の考慮をお願い致します。

以下、議連で確認致しました「医療崩壊を防ぐための緊急提言」をまとめましたので、これをお受け取り頂き、各項目の実現にお力添えを賜ります様、宜しくお願い致します。

— 記 —

- Ⅰ 医療は、安心、安全の社会づくりのための「国民の命の砦」として、最も重要なセーフティーネットのひとつです。民主党は、先の総選挙のマニフェストに、「診療報酬マイナス改定が地域医療の崩壊に拍車をかけました。総医療費対GDP比を、OECD加盟国平均まで引き上げる」と明記し審判を仰ぎました。このメッセージは、医療者のみならず、多くの国民の皆様のご共感を呼び、政権交代への大きな推進力になりました。
- 民主党はマニフェストに掲げた、「次期診療報酬改定では、大幅な引き上げを行う」事が、公約実行の試金石である事を民主党の全国議員の共通認識とし、次期診療報酬改定にあたっては、地域医療を支える医療・調剤サービスの質の向上のために、ネットでプラス3%以上を確保される事を要望します。
- Ⅱ 低迷する日本経済の現状において、新たなる「雇用の創出」が喫緊の課題です。私たちは医療分野において、勤務医・看護師等の過重労働を軽減する効果に繋がる「医療クランク」等の増員を提唱します。具体的には、「医療クランク」の10万人の増員を目指し、厚生労働省予算である「緊急雇用創出事業」の中で2000億円を確保し、新規医療クランク10万人分の半年分を手当てする事を要望します。
- Ⅲ 過疎地域における医療崩壊は、直ちに取組みなければならない状況にあります。また、へき地医療のみならず、救急、産科といった、医療崩壊が著しく顕著な分野に対策を講じる事が、民主党に課せられた喫緊の課題です。具体的には、平成21年度厚生労働省予算「医師等人材確保対策の推進事業」488億円を、総額1000億円に増額する事を要望します。
- Ⅳ 民主党は総選挙前の医療政策に、「統合医療の確立ならびに推進」として、「漢方」を明記しました。診療報酬の中味の詳細については今後の重要課題ですが、現在、議論の対象になっている漢方等を除外することなく、今後とも保険の対象とする事を要望します。

「民主党 適切な医療費を考える議員連盟」は、衆議院議員115名、参議院議員44名（別紙名簿をご参照下さい）のご賛同を頂き活動致しております。

民主党議員には、日々、全国から悲鳴に近い医療崩壊の危機を訴える声が届けられています。政権交代が実現された今こそ、民主党がこの声に真摯に向き合い、国民に対して「医療崩壊を食い止め、再生を目指す」基本方針を発信する事は、「安心、安全の社会」への大きなメッセージになると確信しております。

この事を、当議連の最大の役割として、今後とも、我が国の医療を運ぶ山積する諸課題について議論を行い、積極的な政策提言を行って参る所存です。